

第1章・ゆとり教育世代の子どもの文化

親の気づき

〇〇18



私が中学生だったころは丸坊主に学生服で、長髪にあげられ、髪を伸ばすことが自由の証のような時代でした。子どもたちのあこがれは「巨人・大鵬・卵焼き」という言葉に象徴される時代でした。しかし、ゆとり教育世代の子どもたちに

携帯①

は、みんなが欲しい、みんながやりたいという全体のあこがれや大きな流行が見当たりません。確か「ポケモンカード」「ミニ四駆」ぐらいまでは、「友達も持っているから私も欲しい!」という流れがあったと思います。先日も中3生の入塾面談でお母さまが「家で勉強をしないんです」とおっしゃいました。「なぜ家で勉強しないんでしょう」と尋ねてみました。お母さまは「家ではDVDが

子育ての大きな問題に

文字でのつながりは孤独

ってきたものがあります。「友達も持っているから私も欲しい!」とだけ持たせる携帯電話です。電話と言っても長電話心、便利な道具が、友



by yoriko

が問題ではなく、メールとインターネットが問題なのです。携帯電話は、送り迎えの親子の連絡手段として、子どもを危険から守るための位置情報を確かめる手段として、子どもに持たせれば大変便利で助かる道具です。高校生になればほとんどの子が所持し、持っていない子を見つけることの方が難しいと思います。しかし、小学生で携帯電話を持っているのはまだまだ少数で、しかも子どもから欲しいケースはほとんどありません。それが、中学2年生あたりから

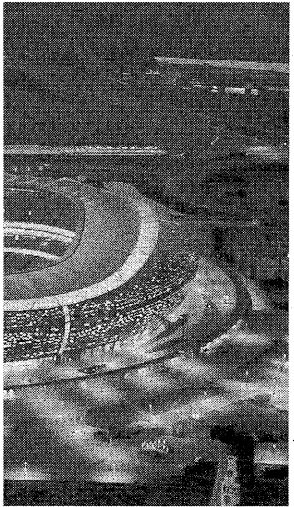
今年6月0年を迎えの「遠野物」となった中で、昔話で「子ども語」躍っているえられてき説をまとめたなみ、遠野100年に継いでいつと期待を込子ども語祭りや式曲守り神とキ妹が鎮座守った「遠野馬と女性のた「オシラ」の昔話を、方言で感情語る。

「子ども語大成書」

教育

ユース ぜなに

連続で出場する日本の活躍です。岡田武史監督は、2002年に日本と韓国で共同開催された第17回大会のベスト16を上回る、準決勝進出を大きな目標にしており、選手



のメイン会場となる

最も大事です。勝つ決勝トーナメント(各組上位2チーム)可能性が見えてきま優勝を争いましょう。ブラジルは最も多い世帯一こより、欠回